

Summer Concert
2002

神戸大学交響楽団

PROGRAM

神戸大学交響楽団 サマーコンサート2002

Kobe University Symphony Orchestra Summer Concert 2002

歌劇「ヘンゼルとグレーテル」序曲
Hänsel und Gretel: Overture

フンパーディンク
Engelbert Humperdink

指揮 小森杏奈
コンサートミストレス 宮辻里奈

交響的変奏曲 作品78
Symphonic Variations, Op.78

ドヴォルザーク
Antonín Dvořák

Theme, Variations 1 - 27, Finale

指揮 三原明人
コンサートマスター 東 規雄

交響曲第1番ハ短調 作品68
Sinfonie Nr. 1 in c moll, Op. 68

ブラームス
Johannes Brahms

第1楽章: Un poco sostenuto - Allegro

第2楽章: Andante sostenuto

第3楽章: Un poco allegretto e grazioso

第4楽章: Adagio - Piu andante - Allegro non troppo, ma con brio

指揮 三原明人
コンサートマスター 富宅 光

2002年7月6日(土) 午後7時開演

尼崎市総合文化センター アルカイックホール

後援: 兵庫県・神戸市民文化振興財団・兵庫県オーケストラ協議会・神戸新聞社



客演指揮 三 原 明 人 (みはらあきひと)

1961年東京生まれ。ヴァイオリン、ピアノ、作曲を学び、東京芸術大学でヴィオラを専攻、その後桐朋学園、ウィーン国立音楽大学で指揮法を小沢征爾、秋山和慶、尾高忠明、カール・エステルライヒャー、ヴァーツラフ・ノイマンの各氏に師事。さらにイタリア・シエナのキジアーナ音楽院、アッシジのレスピーギ音楽院のマスター・クラスにも参加、ゲンナジ・ロジェストヴェンスキー、モーシェ・アツモン各氏に師事した。1989年オランダで行われた「第2回キリル・コンドラシン国際青年指揮者コンクール」で第2位、1993年ドイツ・ハレで開かれた若手指揮者養成のための“DIRIGENTEN FORUM”で最優秀ファイナリスト、1996年ポルトガルで行われた「第8回リスボン国際青年指揮者コンクール」で第3位（1位なし）にそれぞれ入賞。在学中より指揮活動を始め、またヴィオラ奏者としても活躍。1985年ニューヨーク・カーネギー・ホール主催の現代日本作曲家コンサート、武満徹プロデュースの「ミュージック・トゥデイ」（銀座セゾン劇場）などに出演、また1987年のサイトウ・キネン・オーケストラ・メンバーとしてヨーロッパ公演に参加などしていたが、1989年オランダ放送フィルを指揮してアムステルダムでデビュー以来、指揮活動に専念。1989/1990のシーズン、ウィーン・フィルでレナード・バーンスタインのアシスタント、1991年よりオペラ作品などで外山雄三、広上淳一各氏のアシスタント、また1996年ベルリン・フィル来日公演でクラウディオ・アバドのアシスタントを務めるなど研鑽を積みながらヨーロッパと日本を中心に各地で活躍。これまでにオランダ放送フィルのほか、ドイツ・ハレ国立フィル、ブタペストMAV響、リスボン・メトロポリタン響、フィンランド・クオピオ響、また日本では東京都響、読売日響、日本フィル、東京フィル、札幌響、山形響、群馬響、神奈川フィル、名古屋フィル、大阪センチュリー響、広島響、オーケストラ・アンサンブル金沢など各地に客演、コンサートやTV・ラジオなどへの放送録音、CD・映画音楽製作など各方面から高い評価を得ている。また名古屋二期会でのモーツァルトの演奏会形式オペラ上演や、東京国際コンクール声楽部門優勝のアレクセイ・レプチンスキーのコンサートをサポートするなど、オペラの分野においても積極的に活動。1991年には愛知県立芸術大学管弦楽団指揮者として後進の育成にも務めた。1997年フィンランド・クオピオ響を率いて来日公演を行い、13曲にも及ぶオール・シベリウス・プログラムを指揮して高く評価された。1998年にはブルガリアの名門ソフィア・フィルにデビュー、ベートーベン、ブラームスなどの作品でソフィアの聴衆を熱狂させた。近年ではミサ曲、レクイエムなどの宗教作品やマーラーの声楽付き交響曲などに積極的に取り組み、また古巣のヴァイオリンに戻ってソナタやクワルテットなど室内楽の演奏活動も再開、その芸の幅をさらに広げつつある。現在作曲活動は休止状態にあるが、芸大在学中に作曲された「ヴィオラとオーケストラのための前奏曲（1983）」（同年作曲者独奏初演）は同年度の尾高賞作品と共にN響機関紙「フィルハーモニー」誌上で紹介された。今後の活躍が大きく期待される注目の指揮者の一人。

トレーナーの先生方

ギオルゼ・バブアゼ（関西フィルハーモニー管弦楽団 コンサートマスター）

宮 村 聡（京都市交響楽団 主席トランペット奏者）

村 瀬 司（大阪シンフォニカー 主席クラリネット奏者）

以上の先生方にご指導頂きました。この場を借りてお礼申し上げます。